

## 【 東久留米市 】胃がん検診（胃部エックス線検査） 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（50歳以上・隔年）	している
※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	
検査方法（胃部エックス線検査）	している
検査方法（胃内視鏡検査）	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	24,640	28,441	53,081
【東京都調査による対象者率（市町村部）：56.4%】			
実際の受診者数	280	395	675

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	3.3%	4.3%	3.8%
要精検率	11%以下	7.1%	9.6%	8.6%
精検受診率	70%以上	100.0%	89.5%	93.1%
精検未把握率	10%以下	0.0%	10.5%	6.9%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	10.0%	0.0%	3.4%
がん発見率	0.11%以上	0.71%	0.00%	0.30%

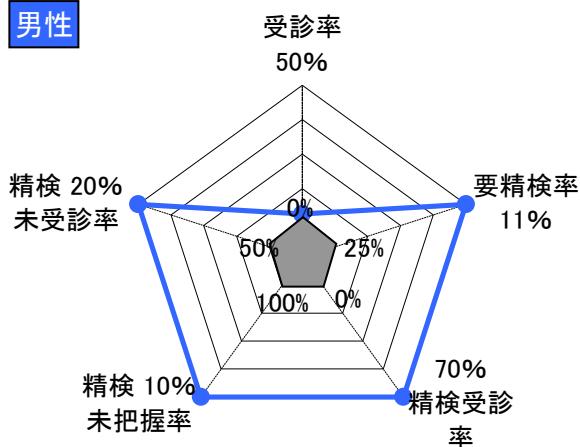
### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

### 男性

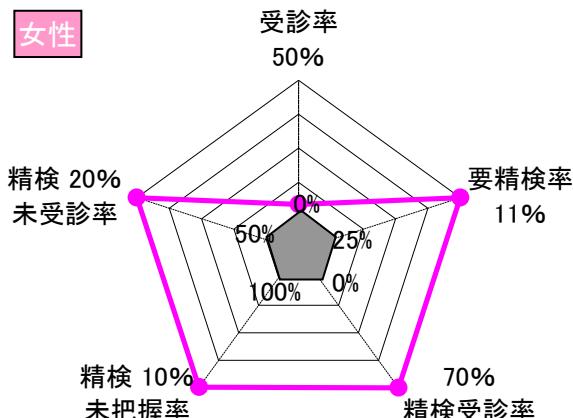


### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

### 女性



#### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一步です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

## 【 東久留米市 】 肺がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>	
対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(胸部X線検査及び喀痰細胞診)	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	34,184	37,352	71,536
【東京都調査による対象者率(市町村部): 63.5%】			
実際の受診者数	187	290	477

※<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	0.9%	1.2%	1.1%
要精検率	3%以下	0.0%	0.7%	0.4%
精検受診率	70%以上	-	100.0%	100.0%
精検未把握率	10%以下	-	0.0%	0.0%
精検未受診率	20%以下	-	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	-	50.0%	50.0%
がん発見率	0.03%以上	0.00%	0.34%	0.21%

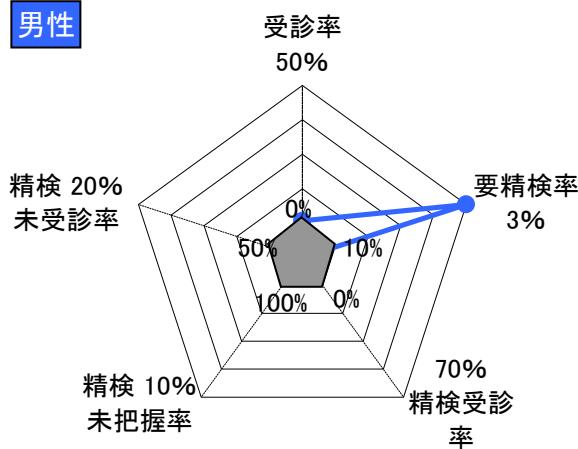
#### プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 男性

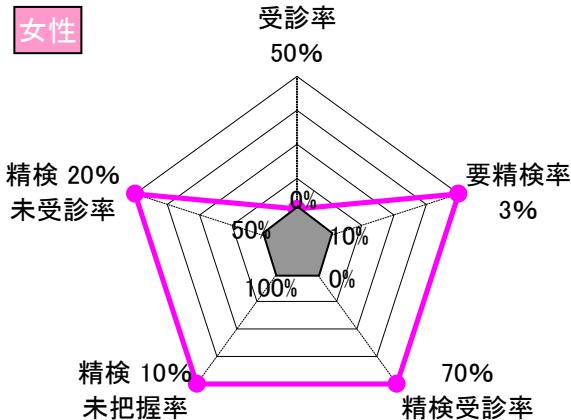


### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

### 女性



## 【 東久留米市 】 大腸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

**<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>**

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(便潜血検査(二日法))	している

**<住民の検診受診状況>**

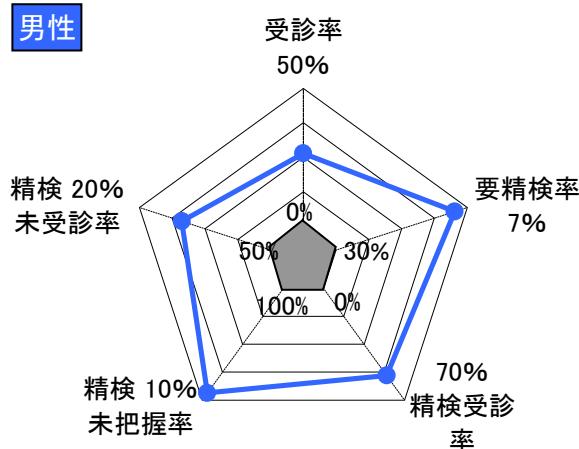
	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	34,184	37,352	71,536
【東京都調査による対象者率(市町村部): 59.6%】			
実際の受診者数	5,389	8,451	13,840

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

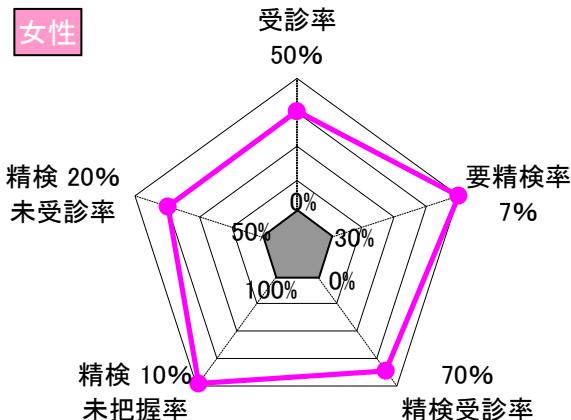
**<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>**

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	26.5%	38.0%	32.5%
要精検率	7%以下	9.2%	5.9%	7.2%
精検受診率	70%以上	54.5%	60.4%	57.5%
精検未把握率	10%以下	15.8%	12.0%	13.9%
精検未受診率	20%以下	29.7%	27.6%	28.6%
陽性反応適中度	1.9%以上	4.4%	2.0%	3.2%
がん発見率	0.13%以上	0.41%	0.12%	0.23%

**男性**



**女性**



**<国に指針に基づくもの以外の実施状況>**

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

**<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>**

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

**プロセス指標についての解説**

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

**【評価結果】**

**<受診率>**

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

**<要精検率>**

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

**<精検受診率>**

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

**<精検未把握率>**

精検未把握率が許容値達成まであと一步です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

**<精検未受診率>**

精検未受診率が高いため、精検受診勧奨を行うなど精検未受診者を減らす取組が重要です。

## 【 東久留米市 】 子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

**<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>**

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

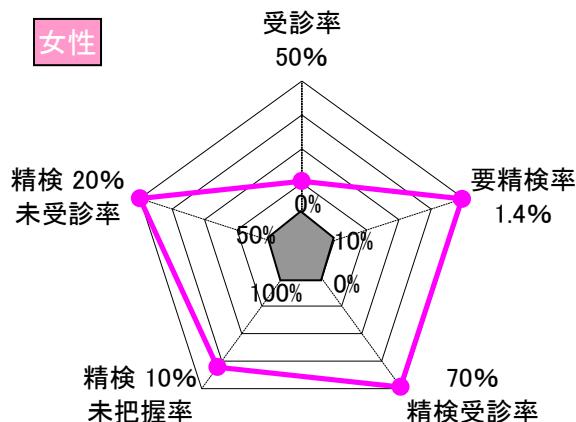
**<住民の検診受診状況>**

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		49,878	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：60.4%】			
実際の受診者数		1,936	

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

**<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>**

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		13.2%	
要精検率	1.4%以下		1.5%	
精検受診率	70%以上		69.0%	
精検未把握率	10%以下		27.6%	
精検未受診率	20%以下		3.4%	
陽性反応適中度	4.0%以上		10.3%	
がん発見率	0.05%以上		0.15%	



**<国の指針に基づくもの以外の実施状況>**

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

**<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>**

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

**プロセス指標についての解説**

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

**【評価結果】**

**<受診率>**

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

**<要精検率>**

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

**<精検受診率>**

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

**<精検未把握率>**

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

## 【 東久留米市 】 乳がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

**<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>**

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

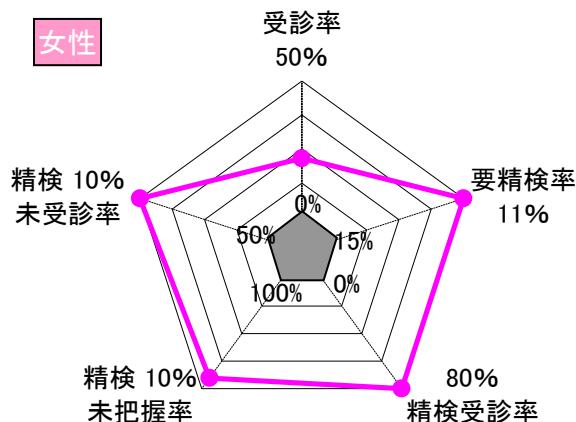
**<住民の検診受診状況>**

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		37,352	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：63.9%】			
実際の受診者数		2,439	

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

**<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>**

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		21.6%	
要精検率	11%以下		8.8%	
精検受診率	80%以上		80.4%	
精検未把握率	10%以下		18.7%	
精検未受診率	10%以下		0.9%	
陽性反応適中度	2.5%以上		2.8%	
がん発見率	0.23%以上		0.25%	



**<国に指針に基づくもの以外の実施状況>**

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

**<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>**

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

**【評価結果】**

**<受診率>**

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

**<精検未把握率>**

精検未把握率が許容値達成まであと一步です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。